プラごみの回収(徒歩による回収)

お茶の水女子大学湾岸生物教育研究所

浜でのミッション: マイクロプラスチックっぽいものを回収



小さ目のプラごみは貝殻より上の、満潮時に 海水面のあったあたりに他の漂流物(海藻など)と共に漂着していることが多いです



採集地点情報(お茶大湾岸研究所周辺)



プラごみを3段階に分類して「教材」として提供



ペットボトルサイズのゴミ

研究所周辺に漂着したものだけでなく、沖縄に漂着した海外産のもの(左写真)を取り寄せることも可能です。

その場合は準備期間として1-2ヶ月程度の余裕をもってお知らせください。



バケツに 直接回収

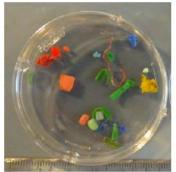


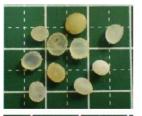
10 cm~5mmくらいのサイズのゴミ

チャック付きの袋に入れて提供します。 断片化が進む前で元の姿が想像できるもの、 ある程度断片化が進んでいるもの、などの 希望がある場合は申込書の備考欄に記入を お願いします。



丸容器に回収







マイクロプラスチック(5 mm以下)

20-30個を密封シャーレに入れた状態で提供 します。シャーレは爪の部分を押さえると 開閉できます。

5 mm前後のレジンペレット(写真右上)も ここに含みます。



50 mL チューブ に回収

マイクロプラスチックっぽいものをピンセットで50mLチューブに入れていく

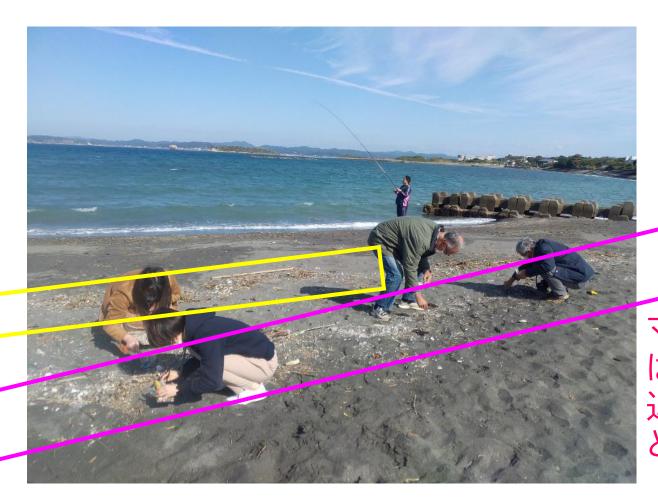
- 仕分けは後でするので疑わしいもの(人工物に見えるもの)をとりあえず回収
- 少し大きめのもの(cm大) は丸容器に回収
- 大き目のものはバケツに 回収



実際のマイクロプラスチック採集の様子(2022年11月放送大学の臨海実習にて;採集地点②)

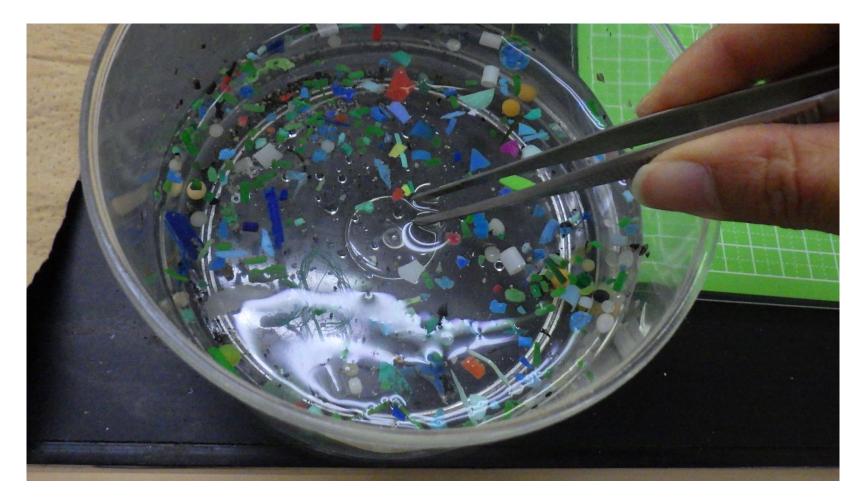


実際のマイクロプラスチック採集の様子(2022年11月放送大学の臨海実習にて;採集地点②)



貝殻などは この辺りに多い マイクロプラスチック は満潮時の海水面付 近に漂着しているこ とが多い

実験室に戻り、真水(水道水)で洗浄



- プラスチックは水に浮くものが多い
- ・方眼紙、方眼つきカッター台で5mm以下かを判定

課題提出について (例)

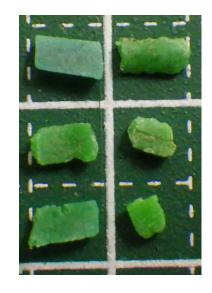
- ・ 洗浄後、乾いたら各自でパッキング
 - ・マイクロプラスチック(5mm以下)は密封シャーレ
 - 中間サイズ(5mm-10cmくらい)のものはチャック袋
- 写真をこちらで撮り、その 「成果の記録」をもって レポートの代わりとします
- パッキングしたものは お土産に持って帰っても、 研究所に寄付してもOKです



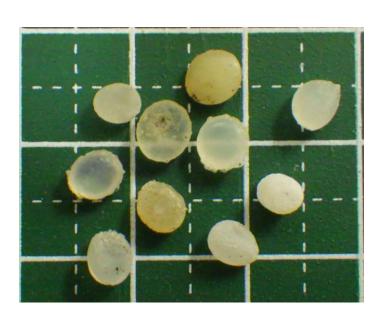
マイクロプラスチックの代表例

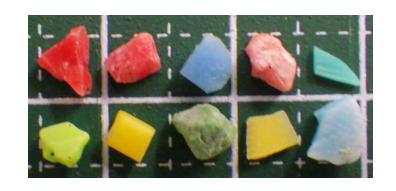
• ペレット(レジンペレット)

• 人工芝の切れ端?



• その他人工的な色合いのもの





マイクロプラスチックと一緒に見つかることがあるもの

- コメツブウニの殻
- 小さなバフンウニの殻
- ストローかと思ったらツノガイ
- ・虫の死骸や甲殻類の抜け殻が 色合い的に人工物に見えることも



参考1:2022年のお茶大LA臨海実習での収量(30分位の回収作業)

- ・ 左: 中くらいサイズ、マイクロプラスチック(4人分)
 - その後、量を均して、実際に教材として使用(京都の高校宛てに送付)
- ・右:大きめのゴミ



参考2:牡蠣の養殖パイプ

- ・海洋プラごみ(cm大)の代表格
- 2022年11月18日に香(こうやつ)に大量漂着 (右のツイートは二人で10分程度で拾った分)
- 「養殖パイプ」で検索すると情報がたくさん出てくる
- 生分解性プラスチック製のパイプに置き換える 方向



お茶の水女子大学 内陸地域の海洋教育

@umipro_ocha

お茶大湾岸研究所近くの香(こうやつ)港のそばの浜に今日は牡蠣の養殖 パイプ?が大量漂着していたので回収 してみました。

#海洋プラごみ も教材としての提供を 行っています

#海と日本#日本財団

#内陸地域の海洋教育 にも使いやすい 教材です



1:46pm · 18 Nov 2022 · TweetDeck